

一般社団法人日本社会福祉学会

第59回 春季大会

「いま社会福祉原論に求められていること」

日時 2011年5月29日（日）13：00～17：20（受付12：00～）

会場 東洋大学 白山キャンパス 1号館 1階 1102番教室

参加費 1,000円（当日、受付にてお支払いください）

* 但し、学生（大学生・大学院生）の方は、会員・非会員を問わず、参加費を免除しますので、受付で学生証をご提示ください。

趣旨

戦後の社会福祉本質論争以降、「社会福祉とはなにか」を問うことは、学会にとって重要なテーマであった。政策論、技術論、中間理論、力動的統合理論、運動論（新政策論）など、さまざまな理論が出され、論争が展開された。

しかし近年では、社会福祉原論研究は、一部の研究を除けば、停滞していると言わざるを得ない状況にある。その一方で、社会福祉基礎構造改革以降の社会福祉の「普遍化」は、研究対象領域の拡大をもたらし、さまざまなディシプリンから社会福祉研究への参入がなされ、社会福祉研究は「中心なき拡散」を示していると言えよう。

そこで改めて、日本社会福祉学会という学術コミュニティを形成する上でコアとなるものは何か、を問い直したい。もとよりさまざまなディシプリンに基づく研究が交錯することは、学会活動の活性化につながる側面もあり、それらを排除することが目的ではない。そうではなく、われわれが研究対象としている社会福祉をどのようにとらえるのか、共通理解の形成に向けた議論を再び活性化することが重要なのである。

本大会のシンポジウムでは、社会福祉学研究をリードしている3名のシンポジストから、いま社会福祉原論研究に求められていることや向かうべき方向性について提起いただき、比較的若手の指定発言者よりその提起をどのように批判的に継承するのかを発言いただく。本シンポジウムを契機に、社会福祉原論研究の活性化を図ることを期待している。

主催：一般社団法人日本社会福祉学会

13 : 00~13 : 05

開会挨拶 副会長 黒木 保博

13 : 05~13 : 50

会長講演「社会福祉方法論研究の到達点と課題ー若手研究者に期待することー」

会長 白澤 政和

14 : 00~17 : 15

シンポジウム「いま社会福祉原論に求められていること」

【シンポジスト】 古川 孝順（東洋大学）

岩田 正美（日本女子大学）

米本 秀仁（北星学園大学）

【指定発言者】 所 道彦（大阪市立大学）

今井 小の実（関西学院大学）

木原 活信（同志社大学）

コーディネーター 岩崎 晋也（法政大学）／ 金子 光一（東洋大学）

17 : 15~17 : 20

閉会挨拶 副会長 野口 定久

* 10 時~正午まで、定時社員総会（会場：1号館 1階 1101番教室）が開催されます。
代議員でなくても会員であれば参加できますので、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

●参加申込み方法：シンポジウムに参加ご希望の方は、①氏名 ②会員区分 ③所属先（勤務先）④身分 ⑤連絡先（E-mail・電話・FAX）を明記の上、メールまたはFAXにて、学会事務局まで2011年5月23日（月）までにお申込みください。

* 手話通訳が必要な方は事前にご連絡ください。

* 参加申込み受理のご連絡はいたしませんので、ご了承ください。

●申込み・連絡先：一般社団法人日本社会福祉学会事務局

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館303

TEL：03-3356-7824 FAX：03-3356-7820 E-mail：jsssw@jt2.so-net.ne.jp

FAX：03-3356-7820 一般社団法人日本社会福祉学会 第59回春季大会シンポジウム参加申込書

氏名	フリガナ	会員区分	会員（No. ）	非会員
所属先		身分（職業）	・学生（大学生・院生） ・教員 ・その他（ ）	
連絡先	①メールアドレス： ②電話番号： ③FAX番号：			

【事務局宛連絡事項】